

モニタリング調査結果

種名 : カワラノギク

調査者 : 光明学園相模原高等学校

調査地 : 相模川左岸河川敷

調査期間	気づいたこと
2018年1月 ~2018年12月	保全活動としてカワラノギクの種を保全地に播いた。 その後順調に生育し、11月に開花を確認した。 ロゼットが多数見られたので、翌年の開花が期待できる状態であった。
2019年5月 ~2019年11月	前年までに形成されたロゼットが多かったため、今年は種まきをしなかった。 9月中頃からシュート伸長が見られ、11月初旬に開花した。 ロゼットが一斉に開花したため、多くの開花を確認することができた。
2020年5月 ~2020年6月	保全地内に残っていたロゼットが3株確認できた。こぼれ種からの芽生えが数個体確認できた。
2020年9月 ~2020年10月	9/11 ロゼットに花芽が見られた。 こぼれ種からの芽生えも成長し、花芽をつけていた。
2020年11月	11/18 ロゼットの花芽、実生株の開花を確認。花数は少ない。